

## 平成25年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成25年5月12日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社ジョイフル  
 コード番号 9942 URL <http://www.joyfull.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 穴見 陽一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務・経理部長 (氏名) 小野 哲矢

四半期報告書提出予定日 平成25年5月13日

TEL 097-551-7131

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	14,252	1.6	650	12.5	651	10.6	389	1.5
24年12月期第1四半期	14,479	1.3	742	4.9	729	5.0	395	

(注) 包括利益 25年12月期第1四半期 393百万円 ( 0.4%) 24年12月期第1四半期 395百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	13.25	
24年12月期第1四半期	13.45	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第1四半期	25,398	13,324	52.5
24年12月期	26,220	13,372	51.0

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 13,324百万円 24年12月期 13,372百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期		10.00		15.00	25.00
25年12月期					
25年12月期(予想)		10.00		10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	28,680	0.1	1,420	2.3	1,420	1.0	810	3.9	27.54
通期	59,530	1.5	3,800	0.9	3,800	1.6	2,040	6.4	69.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 有  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期1Q	31,931,900 株	24年12月期	31,931,900 株
期末自己株式数	25年12月期1Q	2,523,432 株	24年12月期	2,523,360 株
期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期1Q	29,408,493 株	24年12月期1Q	29,408,910 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や設備投資などに弱さが残るものの、昨年末の新政権誕生以降、各種経済対策への期待感から「円高の是正」や「株価の回復」が進む中で、企業や消費者のマインドの改善から生産及び個人消費を中心に徐々に持ち直しの動きが見られるようになりました。

当外食業界においては、消費者マインドや雇用環境に改善の動きが見られるものの、所得の伸び悩みに加えて消費税の増税を巡る国内政治の動向や、「円高是正」に伴う輸入品価格の上昇への懸念もあり、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは「一番安価で、一番身近な食堂」を目標に掲げ、当社のビジネスモデルの根幹である「お値打ち感を主とした商品の提供」と「お客様視点に立ったサービスの実践」に取り組んでまいりました。

商品施策では、「商品開発プロセスの強化」による商品力及び提供品質の向上を軸に、お客様の消費動向を捉えながら多様化する消費者ニーズに対応した商品施策を推進してまいりました。あわせて、原価コントロールの観点から昨年に引き続いて「自社工場製品比率の向上」や「食材の絞込み」を図ってまいりました。

営業施策では、近年継続的に取り組んでいる「自立した強い店長の育成」の一環から「店舗オペレーション・サービスレベルの向上」のための従業員教育に力を入れるとともに、「採用の強化」と「従業員の能力開発」及び店舗内外の環境整備のために既存店舗の改修に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は142億5千2百万円（前年同四半期比1.6%減）、営業利益は6億5千万円（前年同四半期比12.5%減）、経常利益は6億5千1百万円（前年同四半期比10.6%減）、四半期純利益は3億8千9百万円（前年同四半期比1.5%減）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末における店舗数は、当第1四半期連結累計期間において直営2店舗の出店とF C 1店舗の退店により、711店舗（直営658店舗、F C 53店舗）となりました。

また、当社は保険代理店業務等を行う特例子会社を所有しておりますが、連結業績に占める割合が極めて軽微なため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### i) 資産の部

当第1四半期連結会計期間末の総資産は253億9千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億2千1百万円の減少となりました。

これは主に有価証券は増加したものの、現金及び預金、原材料及び貯蔵品、その他（未収入金）の減少によるものであります。

#### ii) 負債の部

当第1四半期連結会計期間末の負債は120億7千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億7千4百万円の減少となりました。

これは主に未払法人税等、長期借入金の減少によるものであります。

iii) 純資産の部

当第1四半期連結会計期間末の純資産は133億2千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ4千7百万円の減少となりました。

これは四半期純利益に比べて配当金支払額が多額であったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の連結業績予想につきましては、平成25年2月11日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間から、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,690	2,436
売掛金	147	152
有価証券	—	1,000
商品及び製品	401	280
原材料及び貯蔵品	890	654
その他	830	794
貸倒引当金	△14	△12
流動資産合計	5,947	5,305
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,931	6,806
機械装置及び運搬具(純額)	283	279
工具、器具及び備品(純額)	375	352
土地	7,972	7,972
その他(純額)	29	31
有形固定資産合計	15,593	15,441
無形固定資産	67	65
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,211	3,210
その他	1,404	1,378
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	4,612	4,585
固定資産合計	20,273	20,092
資産合計	26,220	25,398
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,944	1,789
1年内返済予定の長期借入金	1,352	1,247
1年内償還予定の社債	65	—
未払法人税等	1,017	344
賞与引当金	108	432
その他	2,986	3,169
流動負債合計	7,473	6,984
固定負債		
長期借入金	3,447	3,117
退職給付引当金	542	555
役員退職慰労引当金	45	41
資産除去債務	1,288	1,298
その他	50	75
固定負債合計	5,374	5,089
負債合計	12,848	12,073

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,596	6,000
資本剰余金	2,390	2,390
利益剰余金	13,156	8,701
自己株式	△3,771	△3,771
株主資本合計	13,372	13,320
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	3
その他の包括利益累計額合計	△0	3
純資産合計	13,372	13,324
負債純資産合計	26,220	25,398



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
売上高	14,479	14,252
売上原価	5,016	4,918
売上総利益	9,463	9,334
販売費及び一般管理費	8,720	8,684
営業利益	742	650
営業外収益		
受取利息	1	1
不動産賃貸収入	14	13
その他	11	11
営業外収益合計	27	26
営業外費用		
支払利息	15	10
不動産賃貸原価	12	11
貸倒引当金繰入額	10	—
その他	3	3
営業外費用合計	41	25
経常利益	729	651
税金等調整前四半期純利益	729	651
法人税、住民税及び事業税	390	302
法人税等調整額	△57	△39
法人税等合計	333	262
少数株主損益調整前四半期純利益	395	389
四半期純利益	395	389

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	395	389
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	4
その他の包括利益合計	△0	4
四半期包括利益	395	393
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	395	393
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成25年3月24日開催の定時株主総会の決議により、繰越利益剰余金4,403百万円を資本金に振替えました。この結果、当第1四半期連結会計期間において利益剰余金が4,403百万円減少し、資本金が4,403百万円増加しております。